誤判定病名登録に関する改訂内容です。

既存のスライド番号にa、b、cの順にオペレーションを記載します。

スライド１

**１）ユーザーが誤判定病名欄に文字列を入力して、誤判定病名を登録する場合です。**

**「チェックデータの中に、入力した文字列と一致（部分一致を含む）するチェックテキストが存在する場合」にはメッセージ表示し、登録されないようにする。**

**―＞**

誤判定病名欄に「眩」を入力して、「眩」を「メリスロン錠１２ｍｇ」の誤判定病名として登録しようとしています。

ボタンをクリックします。

スライド１-a

「誤判定病名設定」ポップアップ画面の病名入力欄にユーザーが入力した「眩」が記入され表示されます。

「登録」ボタンをクリックします。

スライド１-b

チェックデータの中に「眩」と部分一致するチェックテキストの「眩暈」が存在するので、メッセージ表示し、登録されないようにします。

メッセージ：「眩」はチェックデータに含まれるので登録できません。

　　　　　　［OK］

スライド２

**２）ユーザーが「HIT病名」をダブルクリックして誤判定病名として登録する場合、**

**（１）「チェックデータの中に、「HIT病名」と一致（部分一致を含む）するチェックテキストが存在する場合」にはメッセージ表示し、登録されないようにする。
続けて、「HIT病名」の「HITデータ」をチェックデータから削除するかどうかを尋ねる。**

**―＞**

チェックデータの中に、ユーザーがダブルクリックした「HIT病名」＝「眩暈」と一致するチェックテキストの「眩暈」が存在します。

ボタンをクリックします。

スライド２-a

メッセージを表示し、登録されないようにします。

メッセージ１：「眩暈」はチェックデータに含まれるので登録できません。

　　　　　　［OK］

スライド２-ｂ

続けて、「HIT病名」＝「眩暈」の「HITデータ」＝「眩暈」をチェックデータから削除するかどうかを尋ねます。

メッセージ２：「眩暈」をチェックデータから削除しますか？

　　　　　　［OK］［Cancel］

OKを選択します。

スライド２-ｃ

チェックデータが削除します。

スライド３

**（２）「チェックデータの中に、「HIT病名」と一致（部分一致を含む）するチェックテキストが存在しない場合」にはメッセージ表示し、「HIT病名」を誤判定病名として登録するか尋ねる。続けて「HIT病名」の「HITデータ」をチェックデータから削除するかどうかを尋ねる。**

**―＞**

チェックデータの中に、「HIT病名」＝「メニエール病」と一致するチェックテキストが存在しないです。（でも、メニエが存在します。）

ボタンをクリックします。

スライド３-a

チェックデータの中に、「HIT病名」＝「メニエール病」と一致するチェックテキストが存在しないのでメッセージ表示し、「HIT病名」＝「メニエール病」を誤判定病名として登録するか尋ねます。

メッセージ１：「メニエール病」を誤判定病名に登録しますか？

　　　　　　［OK］［Cancel］

OKを選択します。

スライド３-ｂ

続けて、「HIT病名」＝「メニエール病」の「HITデータ」＝「メニエ」をチェックデータから削除するかどうかを尋ねます。

メッセージ２：「メニエ」をチェックデータから削除しますか？

　　　　　　［はい］［いいえ］

OKを選択します。

スライド３-ｃ

「メニエール病」が誤判定病名に登録され、

「メニエ」がチェックデータから削除されました。

スライド４

ユーザーがダブルクリックした「HIT病名」＝「メニエール病」の「HITデータ」＝「メニエ」をハイライト表示するようにしてください。

→　 当該「HIT病名」に該当する「HITデータ」をハイライト表示処理するよう改善しました。